■建物の概要

・施設名　平岡駅前活性化複合施設
　１階店舗　満島屋　２階村営住宅　コーポあさぎり（６戸）
・所　在　天龍村平岡1249番地８
・１階店舗指定管理者　株式会社ナピカランド
・構　造　鉄骨造　一部木造２階建て
　敷地面積：1521.58㎡
　延床面積：1階 353.89㎡　2階 236.65㎡　合計 590.54㎡
・竣工日　令和４年（2022年）３月31日

■設計・施工

設計・監理

桂・宮本設計共同企業体
　株式会社桂建築設計事務所（飯田市桜町１丁目41番地）
　株式会社宮本忠長建築設計事務所（長野市柳原1875番地１）

建設工事施工

吉川建設株式会社（飯田市松尾町２丁目25番地）

■関連事業費

建設工事	264,000,000円（備品を含む）
設計監理委託	16,500,000円
地質調査委託	3,091,000円
地形測量委託	253,000円
用地取得費	8,000,000円
建物解体工事	19,998,000円
合　計	311,842,000円

〈財源内訳〉

地方創生拠点整備交付金	67,265,000円
地方創生推進交付金	8,499,000円
一般補助施設整備等事業債	59,600,000円
過疎対策事業債	99,000,000円
一般財源	77,478,000円

◎買物弱者対策及び平岡駅前活性化複合施設「満島屋」「コーポあさぎり」完成までの沿革

●2017年（平成29年）

6月　買物弱者対策検討委員会設置（委員長：板倉幸正）

●2018年（平成30年）

11月　答申

●2019年（平成31年・令和元年）

2月　買物弱者対策に関する拠点施設設立準備委員会設置（委員長：大平正長）
8月　村民アンケートを開催（第１回）
12月～　村民との意見交換会を実施

やまびこデリ出発式

●2020年（令和２年）

2月　中間答申
3月　旧満島ホテル用地取得、解体
4月　役場地域振興課商工観光係内に買物弱者対策準備室設置
6月　買物弱者対策の一環として見守り・ご用聞き事業
　「やまびこデリ」試行運用実施
　村民アンケートを開催（第２回）
8月　「やまびこデリ」本格運行開始
10月　答申
11月　設計プロポーザル審査会を実施
　阿南ショッピングセンター協業組合と「買物拠点施設に関する協定」を締結

設計プロポーザル審査会

●2021年（令和３年）

1月　拠点施設に係る村民ワークショップの開催
4月　買物弱者対策準備室を買物拠点準備室に改称
　地質調査ボーリングを実施
8月　建設地内にある個人住宅取得、解体
　地方創生拠点整備交付金事業（内閣府）として採択、工事着手
10月　１階店舗名称を公募し、146案の名称案の中から「満島屋」に決定

阿南ショッピングセンターとの協定締結

●2022年（令和４年）

1月　２階住宅の名称を「コーポあさぎり」に決定
2月　「満島屋」ロゴマークを公募し、４案の中からロゴマークを決定
3月31日　本体工事完成
4月　買物拠点準備室を買物支援対策室に改称
4月25日　竣工式　開催
4月27日　「満島屋」開業
年度中　拠点施設（平岡商店街）へのデマンドバスの運行予定
　移動販売車による訪問販売を実施予定

平岡駅前活性化複合施設

満島屋　コーポあさぎり　竣工

令和４年３月

天龍村

ごあいさつ

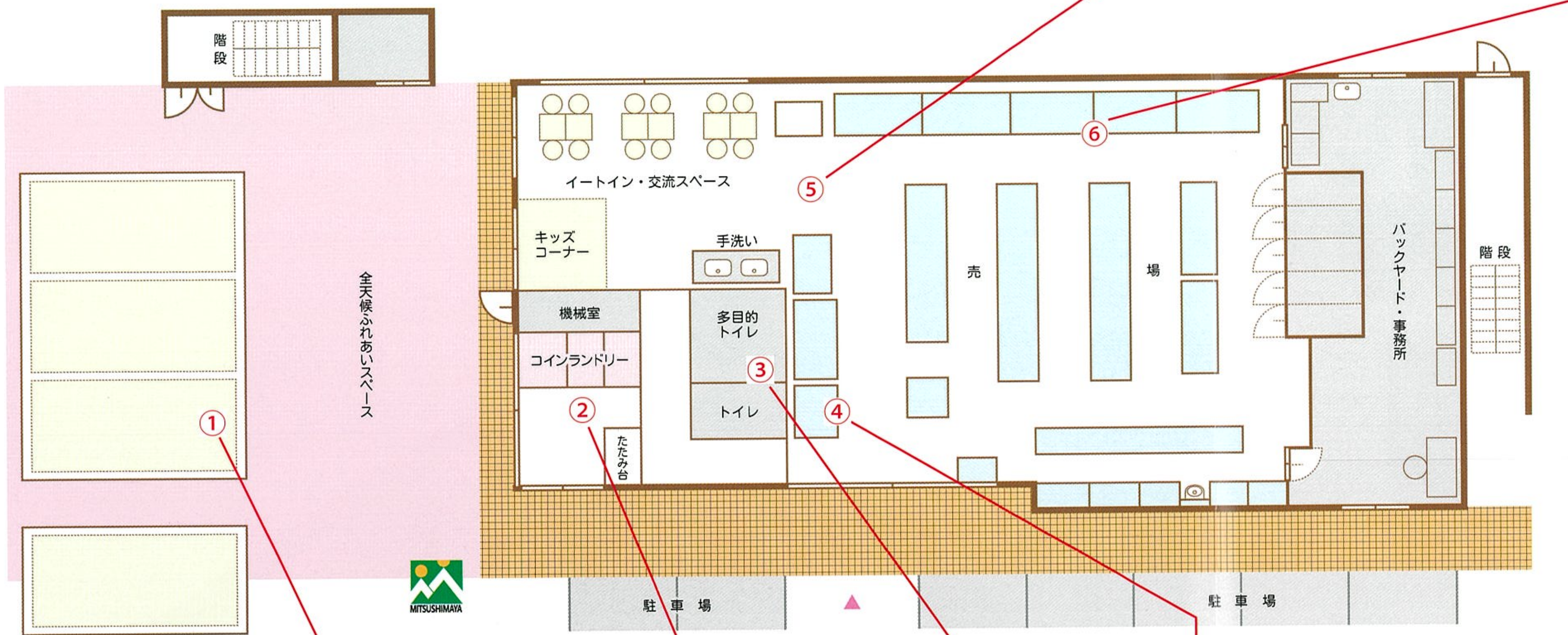
いよいよ、飯田線平岡駅前に買物拠点施設「満島屋」および村営住宅「コーポあさぎり」6戸が竣工となります。近年、商店主の高齢化や運転免許の返納などにより、村民の皆様のなかで、生活必需品である食料品や日用品の調達が困難となっている方が増加しています。そこで村では平成29年度より検討委員会の設置や役場内に専門の部署を設け、いわゆる買物弱者対策を検討してまいりました。諮問委員会による検討の中で、買物拠点施設の整備と、見守り御用聞き事業の実施があげられ、施設建設に先行して令和２年度より地域の見守りも兼ねた御用聞き事業「やまびこデリ」の運用を開始しました。

買物拠点施設は、地域の皆さまのニーズに応えられる運用形態の検討を重ね、交流スペースを兼ね備えたミニスーパーにコインランドリーを併設した形態といたしました。あわせて、施設の２階には単身向け住宅を６戸整備し、住まいの整備を行いました。なお、施設の一部には村産材を活用しているほか、環境に配慮した断熱効果の高い素材の導入やバリアフリー等に配慮し、誰でも気軽に立ち寄れる場所となるよう整備を進め、ようやく竣工の運びとなりました。

ここに、多くの関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、これから当施設が村内外の多くの皆様に愛され、天龍村の買物弱者対策はもとより、定住促進対策として、地域の元気の源となることを祈念申し上げ、竣工の挨拶とさせていただきます。

令和４年４月
村長　永嶺　誠一

１階　満島屋（スーパー・コインランドリー）



⑤イートイン・交流スペース

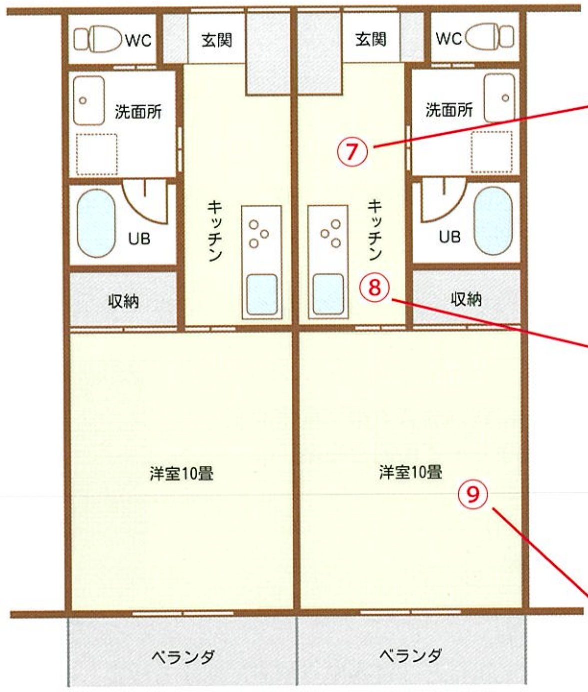
普段は休憩や飲食ができる休憩所として自由にご利用いただけるほか、イベント等の開催を行うことができる屋内の交流スペースです。キッズコーナーも併設しています。

⑥ミニスーパー売場

生鮮食料品、冷凍品、飲料、日用品、食料品等を取り扱うミニスーパーの売り場です。会計はセルフレジと、店員対応の２つのレジが設置されます。

⑦⑧⑨居室

環境に配慮した高断熱仕様の設計の単身用オール電化住宅です。室内の随所に木のぬくもりが感じられます。



２階　コーポあさぎり（村営住宅６戸）

①全天候型ふれあいスペース

普段は駐車場としてご利用いただけるほか、イベント等の開催を予定している場所です。

②コインランドリー

大型洗濯乾燥機１台、中型乾燥機４台、硬貨両替機を備えています。

③多目的トイレ

バリアフリー、オストメイト対応、おむつ交換台、着替え台が用意されています。このほかにも洋式トイレが１ヶ所設置されています。

④産直コーナー

地元の生産者の方が野菜や土産品などを出展し、販売できるコーナーです。

名称・ロゴマークの由来

満島屋　施設が立地する付近は「満島」という地籍で、現在の飯田線の前身である三信鉄道が開業した当時は、平岡駅ではなく満島駅と呼ばれていました。

名称は公募により決定し、地籍の名を後世に残したいという思いと、村内では今も屋号で家を呼ぶ習慣があることから、「満島屋」と名づけられました。

また、ロゴマークも公募を行い、デザインが決定しました。「満島屋」の頭文字である「M」を用いて、天龍村の山々、また手を取り合い買い物に行く子どもと親御さん（お年寄り）の姿、またレジ受付の方とお客さんとのふれあう様を表していただきました。また、下部にアルファベット表記を配し、読みを全国アピールできる様にし、ロゴタイプは書き起こし、特徴を持たせたデザインに仕上げていただきました。

コーポあさぎり　歌人・柳原白蓮氏が平岡を訪れた際、“天龍の　ここは平岡　ダムを過ぎて　とどろになるよ　あさぎりの中”という句を詠んだとされています。その句から「あさぎり」の名と、共同住宅を意味するコーポを組み合わせ、「コーポあさぎり」と名づけられました。